

食品リサイクル法関係者からのヒアリングの進め方

1. ヒアリングの進め方

各関係者の持ち時間は原則として約30分とし、以下の手順でヒアリングを行っていく。

- ①プレゼンテーション（20分以内）
- ②意見交換（10分程度）

2. ヒアリング日程（案）

第2回合同会合（本日）

- ・NPO 法人セカンドハーベスト・ジャパン（フードバンク）
- ・一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会（食品小売等）
- ・日本チェーンストア協会（食品小売）
- ・農事組合法人百姓倶楽部（農業者）
- ・鹿島建設(株)（メタン化プラントメーカー）
- ・ワタミエコロジー(株)（外食）

第3回合同会合（5月10日（金））

- ・中部有機リサイクル(株)（再生利用事業者：飼料化）
- ・(株)開成（再生利用事業者：メタン化）
- ・全国食品リサイクル登録再生利用事業者事務連絡会（再生利用事業者）
- ・バイオガス事業推進協議会（再生利用事業者：メタン化）

第4回合同会合（5月17日（金））

- ・日本加工食品卸協会（食品卸売）
- ・(株)三功（再生利用事業者：肥料化）
- ・杉田建材(株)（産業廃棄物処理業者：熱回収）
- ・一般財団法人日本土壌協会（肥料関係団体）
- ・地方共同法人日本下水道事業団（下水道関係団体）

第5回合同会合（5月27日（月））

- ・一般社団法人日本フードサービス協会（外食）
- ・一般財団法人食品産業センター（食品製造）
- ・(株)五十嵐商会（再生利用事業者：肥料化）
- ・主婦連合会（消費者団体）
- ・京都市（自治体）
- ・長野県（自治体）